

令和元年度 大阪府 国民健康保険事業 決算のポイント

1 単年度収入の構成は、公費（国費及び府費）が40%近く、事業費納付金（保険料等）、前期高齢者交付金（他保険者からの支援金）が約30%

- ・ 公費（国庫支出金、療養給付費等交付金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金） 316,126 百万円（38.28%、対前年比 0.54 ポイント増）
- ・ 事業費納付金（保険料等） 268,752 百万円（32.54%、対前年比 0.88 ポイント増）
- ・ 前期高齢者交付金 240,757 百万円（29.15%、対前年比 1.45 ポイント減）

※ 国庫支出金（260,807 百万円）の内訳

療養給付費等負担金 173,734 百万円 高額医療費負担金 7,221 百万円 特別高額医療費共同事業負担金 564 百万円 特定健康診査等負担金 911 百万円
 普通調整交付金 64,726 百万円 特別調整交付金 8,817 百万円 保険者努力支援制度交付金 4,833 百万円

2 単年度支出の構成は、保険給付費等が約80%、後期高齢者医療への支援金が約13%、介護保険への納付金が約5%

- ・ 保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業 669,920 百万円（79.99%、対前年比 1.31 ポイント減）
- ・ 後期高齢者支援金等 112,479 百万円（13.43%、対前年比 0.27 ポイント減）
- ・ 介護納付金 43,119 百万円（5.15%、対前年比 0.16 ポイント増）

3 単年度収支差は、▲116 億 82 百万円の赤字、基金繰入金（44 億 34 百万円）及び昨年度繰越金（73 億 76 百万円）の活用、基金積立金（5 百万円）後の次年度繰越額は、1 億 22 百万円

- ・ 次年度への繰越額（1 億 22 百万円）は、令和元年度末における「形式的な」資金収支差。
- ・ 療養給付費等負担金及び高額医療費負担金等は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び精算は翌年度（令和2 年度）に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

療養給付費等負担金	返還額 ▲78 億 68 百万円
退職者医療交付金	返還額 ▲91 百万円
高額医療費負担金	返還額 ▲31 百万円

返還額合計 ▲79 億 90 百万円

⇒ 大阪府分の令和元年度の実質的な歳出規模は、8,454 億 81 百万円（8,374 億 91 百万円+ 79 億 90 百万円）となり、収支差引残は、▲78 億 67 百万円（▲0.93%）。

※ 出典：事業年報B表（令和3年3月29日時点）

※ 単位：百万円、%（小数第2位まで） 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

令和元年度 大阪府内 43 市町村総計 国民健康保険事業決算のポイント

1 単年度収入の構成は、都道府県支出金（普通交付金含む）が約 71%、保険料収入が約 19%、一般会計繰入金が約 10%

・ 都道府県支出金（うち普通交付金）	669,877 百万円（658,129 百万円） 70.55%（対前年比 0.30 ポイント減）
・ 保険料収入	179,370 百万円 18.89%（対前年比 0.17 ポイント減）
・ 一般会計繰入金	97,451 百万円 10.26%（対前年比 0.18 ポイント増）

2 単年度支出の構成は、保険給付費が約 69%、国保事業費納付金が約 29%、総務費が約 1.7%

・ 保険給付費	650,049 百万円 68.94%（対前年比 1.00 ポイント減）
・ 国保事業費納付金	268,752 百万円 28.50%（対前年比 0.08 ポイント増）
・ 総務費	16,065 百万円 1.70%（対前年比 0.10 ポイント増）

3 純資産（資産 - 負債）は、黒字 39 市町村（322 億 61 百万円）、赤字 4 市町村（▲26 億 32 百万円）

うち、収支差引額では、黒字 39 市町村（114 億 41 百万円）、赤字 4 市町村（▲26 億 32 百万円）

単年度収支差は、黒字 32 市町村（73 億 10 百万円）、赤字 11 市町村（▲7 億 38 百万円）

累積赤字額は、30 年度 45 億 94 百万円 → 元年度 26 億 32 百万円へ、19 億 62 百万円（42.71%）の減少

- ・ 単年度収支差の黒字は、30 年度 35 億 68 百万円 → 元年度 73 億 10 百万円（+37 億 42 百万円 104.88%増）に増嵩している。
- ・ 単年度収支差の赤字は、11 市町村（▲7 億 38 百万円）あるが、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字としている。
- ・ 純資産は、30 年度 232 億 30 百万円 → 元年度 296 億 30 百万円（+64 億円 27.55%増）に増嵩している。

※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

基金等保有額は、30 年度 151 億 88 百万円 → 元年度 208 億 20 百万円（+56 億 32 百万円 37.08%増）

次年度繰越額は、30 年度 126 億 36 百万円 → 元年度 114 億 41 百万円（▲11 億 95 百万円 9.46%減）

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

大阪府国民健康保険運営方針において累積赤字は解消をめざすものとしており、累積赤字縮減は保険財政健全化に資するものである。

※ 出典：事業年報B表（令和3年3月29日時点）

※ 単位：百万円、%（小数第2位まで） 単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。